当院のご案内

当院の特徴は、来院される患者さまとのコミュニケーションを大切にしながら出来るだけ歯を抜かず、歯を出来るだけ削らない、削ることが必要な時は削る量を極力少なくするようにしております。

このため、当院のすべての中心に予防「身体の健康は歯の健康から」を置き、患者さまと生涯にわたりお付き合いできるように、スタッフ一同 日々取り組んでおります。

むし歯と歯周病を根本的に改善するためのトータルヘルスプログラムでは再発のない生涯一度きりの歯科治療実現を目指しております。

他には、かみ合わせ(咬合)と全身との関連について(口腔の機能は咀嚼する事と共に、ストレスマネジメントを唯一行える重要な器官である)と考えて予防と同様に、出来るだけ早い時期からの機能的・咬合育成に力を注いでおります。

特に小学校低学年から開始するSH 矯正は夜に装着するだけで痛みもなく、綺麗な歯並びを獲得できるため、非常に大きな評価をいただいております。

保険診療と自由診療に関する解釈

当院ではトータルヘルスプログラムや治療、予防メンテナンスを安心して受けていただくために、ぜひ知っておいていただきたいことについて記載させていただきます。

日本には世界に類をみない固有の保険システムとして、今から55年以上昔の1961年に国民健康法が改正され国民皆保険制度が確立されました。考え方として「国民が**最低限度の生活を営む上で必要な医療**は保険給付の対象となる」という考え方です。このため戦後間もない時期にはとても必要性、有効性が高かったものの高度経済成長を経て生活水準の向上した現在の日本の歯科治療には適応し難い面が多くみられます。**保険システム自体が最低限の治療しか行うことができない**ようになっており、医療機関の診療報酬そのものも30年前と大差のないのが現状です。

その一つの代表例が予防メンテナンスだと言えます。国民皆保険の超基本ルールは疾病医療をカバーすることに限定されており治療が終了し疾患を持たない状態においては保険診療の対象ではなくなるという訳です。当院では保険の枠を越えて患者さまに最適で最新の予防メンテナンスを行っております。

正しく理解してますか？ 歯科の【保険診療】と【自費診療】の違い

医療機関を受診すると、まず「保険証をお出してください」と言われますよね。でも、中には保険のきかない自費診療(自由診療)もあるということをご存知でしょうか？

今回は、あまり知られていない歯科治療における「保険診療」と「自費診療」の違いについてご説明します。

保険のきかない治療って？

保険のきかない歯科治療には、下記のようなものがあります。

- 病気がない人の検査や予防処置(フッ素塗布、虫歯菌の検査、歯のクリーニング、etc...)
- 歯列矯正治療
- 貴金属・セラミックのクラウン(かぶせる治療)、ブリッジ(つなげる治療)
- 金属を多く使用した義歯
- インプラント
- 美容的な治療(歯のクリーニング、ホワイトニングなど)

通常の虫歯治療などは保険診療に入りますが、虫歯や歯周病などの口内トラブルを防ぐ「**予防歯科**」の分野になると、基本的に保険がききません。また、**審美歯科**で扱う美容目的の治療でも、患者が治療費を全額自己負担することになります。

自費診療の特徴

「自費診療」と聞いて、あなたはどんなイメージを持ちますか？

「自費診療＝お金持ちの贅沢」なの？

自費診療を「お金持ちがするもの」「エステなどの贅沢と同じ」と捉えている人もいます。しかし、実際は必ずしもそうとは言えません。医療では保険の適用範囲内で行えることが限られているため、**最善の治療法を考えると、自然と自費診療を選択する機会も増えてくるのです。**

最新素材の提案を受け、患者自身が選ぶことができる

保険診療では、治療に使える素材も限定的です。一方、自費診療では詰め物・かぶせ物の素材を歯科医が選定し、患者の症例などに合わせて最適あるいは最新の素材を提案することが可能となります。それによって身体親和性が上がり、かつ**虫歯再発や歯周病のリスクを最小限に抑える効果が期待できます。**

時間にも制約がなく、精度の高い治療が受けられる

保険診療の内容は、「この治療は〇〇円」と国によってあらかじめ値段が決められています。したがって、限られた時間と予算の中でできる範囲内での治療を行えない...なんてこともよくある話です。しかし、**自費診療ではこうした制約がないため、十分な時間と最適な素材を使って、再治療の可能性をできる限り抑えた精度の高い治療ができます。**

常に「保険診療＝安上がり」とは限らない

場合によっては、保険診療で歯医者に通うよりも自費診療のほうが安く済むこともあります。

「歯のクリーニング」を受ける場合

同じ日に、「歯科医院で歯をキレイにしよう」と思った A 夫さんと B 子さんがいるとしましょう。A 夫さんは保険証を片手に近くの歯科医院へ、B 子さんは**自由診療のメニューが豊富な審美歯科**へ出かけました。

A 夫さんは診断の結果、歯周病治療の一環として**歯石取り**を行うことに。(※「予防歯科」の施術は保険がきかないため。)一方、B 子さんはカウンセリングの結果、PMTc(プロフェッショナル・メカニカル・ティース・クリーニング)という**歯のクリーニング**を受けることになりました。

そして、施術終了後、B 子さんの歯はクリーニングで**茶渋や頑固な黄ばみも一発で落ち**、見違えるほどキレイになりました。一方、A 夫さんは 1 回の施術では見た目に大きな変化はなく、お会計の際に来週の予約を入れることに。結局、次の週も、また次の週も...と通い続けることになり(※)、**歯石取りだけで 2 ヶ月間もかかってしまいました**。

結果として、B 子さんのクリーニングは自由診療で 1 回 8,000 円。A 夫さんは 1 回あたりは保険診療で安かったものの、全 8 回の通院で 10,000 円以上の出費となりました。その上、**茶渋汚れなどを落とすのは保険適用外**なので、汚れが気になる部分も残ったままです。このように、保険診療ではできることが限られているため、必ずしも安上がりになるとは限りません。

※歯周病治療のため、経過を観察しなければならないのも理由の 1 つです。

「できるだけ安く治療を受けたい」と思う気持ちも分かりますが、長い目でみるとそれが最善策とは言えないこともあります。一生涯付き合っていく大事な自分の歯のことですから、納得のいく説明や豊富な治療実績などがあるかどうかをよくチェックし、信頼できる医院選びを心がけましょう。